

応募方法

- お住まい（または学校・お勤め先）の地域で「図書館を使った調べる学習コンクール」（地域コンクール）を開催している場合は、必ずそちらへご応募ください。
・地域コンクールの募集期間は、全国コンクールの募集期間と異なります。ご注意ください。
・地域コンクールの開催地域、募集期間、部門等は、図書館振興財団ホームページでご確認ください。
- お住まいの地域でコンクールを開催していない場合、また、地域コンクールを開催していても募集部門がない場合は、全国コンクールへご応募ください。

- ★ 応募フォームは2023年9月1日にオープン予定です。
- ★ 「応募カード」を1作品につき1枚プリントアウトし、糊またはテープで作品裏表紙等に貼り、作品をお送りください。
- ★ 応募フォームに入力後、「応募カード」を出力できない場合は、下線部の「応募カード」に作品番号を必ずご記入ください。

※ 下線部の「応募カード」で応募する場合

- 1作品につき「応募カード」2枚を添付してください（コピー可）。
- 1枚を糊またはテープで作品裏表紙等に貼り、もう1枚は作品と一緒に送りください。

作品応募・お問合せ先

公益財団法人図書館振興財団コンクール応募係

URL <https://concoours.toshokan.or.jp/>

〒112-0002 東京都文京区小石川5-2-2 明日香ビル TEL03-3868-8745 FAX03-3868-8744



コンクールの最新情報・審査基準・データ入力用「応募カード」・応募に関するQ&A・入賞作品・審査結果は当財団HPでご確認ください

※全国コンクールへの応募作品は全て返却いたしません。地域コンクールへ応募された作品はこの限りではありません。

第27回図書館を使った調べる学習コンクール応募カード

各欄に必要事項をご記入
または☑をお入れください

※「応募カード」はコピーしてお使いください。縮小コピーはお控えください

作品番号記入欄（応募フォーム入力作品のみ）

（事務局記入欄）

応募部門	【調べる学習部門】 ☐ 小学生の部（ ☐ 低学年/ ☐ 中学年/ ☐ 高学年） ☐ 中学生の部 ☐ 高校生の部 ☐ 大人の部（大学生・社会人等） ☐ 子どもと大人の部 【調べる学習指導・支援部門】 ☐	
タイトル	ふりがな	
氏名	ふりがな	2名以上で1作品に取り組んだ場合の人数 ※全員の氏名を作品に明記してください [] 人
学校名 組織名	ふりがな	小学校 中学校 [] 年生 高等学校
問合せ 参加賞送付先	☐ 組織応募（小学校 / 中学校 / 高等学校 / 公共図書館 / その他） ふりがな 組織名 [] 担当者（ ） 住所 [〒 -] 都道府県 市区町村 TEL FAX メールアドレス	
	☐ 個人応募 住所 [〒 -] 都道府県 市区町村 TEL FAX メールアドレス	

※右から一方をお選びください

組織番号
（事務局記入欄）

「応募カード」を通じて取得した個人情報は、審査結果発表等コンクール事業にのみ使用します。

第27回 図書館を使った調べる学習コンクール®



イラスト 楚納タオ

募集期間

2023.9/11月 - 10/2月 必着

結果発表

2024.1/11木
当財団HPトピックスにて

主催



公益財団法人
図書館振興財団

（後援）文部科学省/観光庁/環境省/総務省/2030生物多様性枠組実現日本会議/東京都教育委員会/一般財団法人日本児童教育振興財団/
公益財団法人海外子女教育振興財団/公益財団法人大宅社一文学/公益財団法人日本図書館協会/公益財団法人読書推進運動協議会/
日本児童図書出版協会/読売新聞社/活字文化推進会議/毎日新聞社/日本教育新聞社/株式会社教育新聞社/一般社団法人全私学新聞/
株式会社教育家庭新聞社/NHK
（協賛）大日本印刷株式会社/丸善雄松堂株式会社/株式会社図書館流通センター/カーリル/株式会社丸善ジュンク堂書店

図書館を使った調べる学習について



● 概要

「図書館を使った調べる学習」とは、自ら課題を見つけ、公共図書館や学校図書館を使ってその課題を解決する一連の探究的な学習過程全般を指します。

● 育まれる資質・能力

調べる学習を通じて「知的な好奇心」「体系的な思考や多面的な思考能力」「主体的な学び」「課題を見つけ、資料情報を探し、まとめ、表現する力」「自己肯定感」「著作権を尊重する姿勢」「将来のキャリアを描くきっかけ」等が養われます。

(国立教育政策研究所との共同研究「図書館と学校が地域をつくる」(2016年 学文社)より)

● 主体的・対話的で深い学び

「調べる学習」は学習指導要領の柱である「主体的・対話的で深い学び」「探究学習」の一形態で、学校教育で積極的に導入されている学び方です。

- 優れた推進活動を行った地域コンクールを表彰します。
賞：総務大臣賞、図書館を使った調べる学習活動賞

調べる学習部門

学校・フリースクール等小学1年生以上ならどなたでも応募できます

募集作品

公共図書館や学校図書館を使って調べ、まとめた作品

- 身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなど調べるテーマは自由です
- 「見る」「聞く」などの体験や実地調査なども取り入れながら、どのように調べていったのか、その結果何がわかったかをまとめてください

※調べた情報を作品に引用する場合は、引用のルールに沿ってください。

作品のサイズ・ページ数等

小学生：B4サイズまで（八つ切りサイズも可）
中学生以上：A4サイズまで

※模造紙等にまとめる場合は、必ず上記サイズに折りたたんで応募ください

【ページ数等】 本文：1ページ以上50ページ以内

※表紙、目次、資料集、参考・引用文献一覧は含みません

参考・引用文献一覧：調べたときに利用した資料名と図書館名のリストを必ず巻末に付けてください
パソコンの出力紙での応募も可

※文字サイズ11ポイント以上、1ページの文字数は1,000文字を目安として読みやすさに配慮してください。

募集対象と賞

【小学生の部】 低学年・中学年・高学年 【中学生の部】 中学生
【高校生の部】 高校生 【大人の部】 大学生・社会人等

※作品は2023年度の学年で応募してください(学年・年度を越えて調査研究を継続した場合を除き、過去に完成した作品は応募出来ません)。

- 賞：各部 入賞／文部科学大臣賞 優秀賞 入選／優良賞 奨励賞 佳作

【子どもと大人の部】 小学1年生以上の子どもと大人のグループ・親子

- 賞：入賞／優秀賞 入選／優良賞 奨励賞 佳作

このほか調べる学習部門全体を対象に入賞として、観光庁長官賞（国内の「観光に資する地域の魅力を再発見した」作品に対して）、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞（自然の仕組みの素晴らしさや大切さなどを伝える作品に対して）があります。

調べる学習指導・支援部門

図書館を使った調べる学習を指導・支援した個人や団体が応募できます

募集作品

公共図書館や学校図書館を使った調べる学習の指導・支援の実践をまとめた作品

- 指導・支援の「ねらい、具体的な進め方、結果、成果の考察」などをまとめてください
- 指導・支援の成果物（作品）がある場合は、実例として添付してください

作品のサイズ・ページ数等

【サイズ】 A4サイズまで
【ページ数等】 「調べる学習部門」と同様です

募集対象と賞

学校や公共図書館に所属する個人、団体
● 賞：入賞／優秀賞 入選／優良賞 奨励賞 佳作

作品応募時の注意点など

- 地元の教育委員会や図書館等が地域コンクールを開催している場合は、必ずそちらにご応募ください（募集期間が異なります）。● 地域コンクールおよび他のコンクールとの二重応募はできません。なお、論理展開、考察、結果等がほぼ同様である別作品も二重応募とみなされます。● 継続したテーマで応募する場合は、過去の作品も別作品と考えて引用をし、「参考・引用文献リスト」に掲載してください。● 応募者自身のオリジナルで未発表の作品に限り（学校に提出した宿題は発表とみなしません）。● 大学等の専門機関における研究成果発表等は募集対象外です。● 日本語で書いた作品に限り。● コピーでの応募も可能です。● 日本人学校、補習授業校、現地校などにご所属の皆さまもご応募いただけます。● 「地域コンクール」で入選した作品も全国コンクールの入賞・入選候補になります。● 入賞作品の著作権は公益財団法人図書館振興財団に帰属します。● 応募カードの個人情報等は当財団の個人情報保護方針に基づいて厳重に管理いたします。● 入賞・入選者の氏名（グループ名）・学校名・学年・作品名・都道府県名・地域コンクール名を公表いたします。

※全国コンクールへの応募作品は全て返却いたしません。
地域コンクールへ応募された作品はこの限りではありません。

参加賞・副賞（全部門共通）

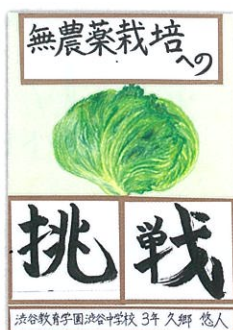
- 応募者全員に参加賞を進呈いたします
- 入賞、優良賞、奨励賞には副賞として図書カードネットギフトを進呈いたします

第26回 入賞作品紹介

調べる学習部門
中学生の部

久郷 悠人さん 東京都 渋谷教育学園渋谷中学校 3年

『無農薬栽培への挑戦』



現代の農業は、一種の作物を広大な敷地で栽培するという生物多様性が欠如した状況にある。よって病害虫が蔓延しやすい。農業に頼らざるをえない。そこで無農薬栽培への道をどう切り拓くか、作者は挑みます。

調べる学習部門
高校生の部

横川 英輝さん 東京都 海城高等学校 1年

『終末期医療における自己決定の尊重を実現するためにはー尊厳死法制化論争や ACP 導入を通してー』



延命治療を望まず息を引き取った祖母の思い出を契機に、どうすれば日本で納得いく死を迎えられるかを考える作者が、終末期専門医やノンフィクション作家取材し、ACP（アドバンス・ケア・プランニング＝前もって医療ケアについて計画を立ておくこと）の可能性を探ります。これからの時代への、真新しく、しっかりとした問題提起となりました。

調べる学習部門
小学生の部（中学年）

成田 逞さん 埼玉県 春日市立桜川小学校 4年

『見て、たどる力はすごいぞ!! 一命のはんえいにつながるセミの集合羽化のひみつ』



セミ好きの作者は4年連続でアブラゼミを研究します。第4弾は「羽化」。たくさん歩く幼虫のパワーに感心しながら、羽化の足場を見つける特性、のけぞるような姿勢の秘密、同じ場所に集まる「集合羽化」の理由にフォーカスしていく探究心。自宅のカーテンを登らせたり、羽化台を製作して羽化させたり。集合羽化は「命のはんえい」だとまとめます。

調べる学習部門
子どもと大人の部

岩楯 遼さん 東京都 台東区立 石浜小学校 3年 岩楯 直子さん 母

『海賊伝承の足あとを追え! ~義盛神社の謎に迫る~』



鎌倉時代の武士、和田義盛と朝日奈義秀親子。神奈川・三浦半島の武士がなぜ大分県竹田市の神社に祀られているかと疑問から始まった研究。母子一緒に調べて見つけたキーワードは「海賊」でした。大好きな映画のイメージを頭の片隅に、瀬戸内の河野家と和田一族が海賊として生きた足跡を探ります。安宅船という海賊船の模型も製作しました。

文部科学大臣賞

文部科学大臣賞

観光庁長官賞